



2024年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年3月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 神戸物産

コード番号 3038 URL <https://www.kobebussan.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 沼田 博和

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部 部長 (氏名) 坂本 匡浩

TEL 079-458-0339

四半期報告書提出予定日 2024年3月15日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無: 有 (<https://www.kobebussan.co.jp/ir/news.php>)

四半期決算説明会開催の有無: 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切り捨て)

1. 2024年10月期第1四半期の連結業績 (2023年11月1日~2024年1月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年10月期第1四半期	120,904	12.0	8,531	34.6	8,063	280.6	5,524	309.7
2023年10月期第1四半期	107,942	11.5	6,338	△14.9	2,118	△72.2	1,348	△73.7

(注) 包括利益 2024年10月期第1四半期 5,732百万円 (333.6%) 2023年10月期第1四半期 1,322百万円 (△74.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年10月期第1四半期	25.03	24.85
2023年10月期第1四半期	6.15	6.07

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年10月期第1四半期	203,479	115,789	55.5	511.21
2023年10月期	211,891	114,451	52.7	506.23

(参考) 自己資本 2024年10月期第1四半期 112,859百万円 2023年10月期 111,691百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年10月期	-	0.00	-	22.00	22.00
2024年10月期	-	-	-	-	-
2024年10月期 (予想)	-	0.00	-	23.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2024年10月期の連結業績予想 (2023年11月1日~2024年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	498,000	7.9	31,000	0.9	33,000	10.1	21,500	4.6	97.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年10月期1Q	273,600,000株	2023年10月期	273,600,000株
② 期末自己株式数	2024年10月期1Q	52,830,255株	2023年10月期	52,968,055株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年10月期1Q	220,684,153株	2023年10月期1Q	219,195,680株

(注) 期末自己株式数には、「役員向け株式交付信託」の信託財産として株式会社日本カストディ銀行（信託口）が所有する当社株式275,200株を含めております。また、株式会社日本カストディ銀行（信託口）が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式を含めております（2024年10月期1Q 275,200株、2023年10月期1Q 168,400株）。

※四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2023年11月1日～2024年1月31日)における我が国の状況は、新型コロナウイルス感染症の影響による経済活動の制限が解除されたことにより、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方、ロシア・ウクライナ問題の長期化に加え、中東情勢の激化など新たな地政学リスクの発生、不安定な為替の変動、エネルギーコストの高騰等、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

食品スーパー業界におきましては、急激なインフレによる消費者の節約志向の高まり、様々なコスト増加等、厳しい環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは「食の製販一体体制」の更なる強化というグループ目標のもと、食品製造工場の生産能力の増強や積極的な商品開発を行い、神戸物産グループ全体の競争力を高めてまいりました。また、高品質で魅力のある商品をベストプライスで提供できる当社グループの強みをさらに磨き、お客様のニーズをとらえた事業を行ってまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は120,904百万円(前年同期比12.0%増)、営業利益は8,531百万円(同34.6%増)、経常利益は8,063百万円(同280.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は5,524百万円(同309.7%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①業務スーパー事業

当第1四半期連結累計期間における業務スーパー事業において、国内グループ工場で製造するオリジナル商品と、世界の本物をコンセプトにした自社直輸入品による、魅力あふれるプライベートブランド商品をベストプライスで販売する「業務スーパー」の出店状況は、出店3店舗、退店0店舗、純増3店舗の結果、総店舗数は1,051店舗となりました。

新規出店の内訳といたしましては、直轄エリア0店舗、地方エリア3店舗であります。オーナーの出店意欲も引き続き旺盛であり、また、営業年数が長くなり老朽化してきた店舗の移転等を積極的にフランチャイズオーナーに勧めております。

経営成績については、為替の急激な変動や物価高騰等を理由とした仕入れコストの上昇による個人消費の落ち込みを背景に、消費者の節約志向が高まったことで業務スーパーの低価格商品を求めるお客様の来店につながり、さらにメディア露出やSNSの影響もあり業績が拡大しました。

この結果、業務スーパー事業における当第1四半期連結累計期間の売上高は116,817百万円(前年同期比11.4%増)となりました。

②外食・中食事業

当第1四半期連結累計期間における外食・中食事業において、日本最大級の大型バイキングチェーンの「神戸クック・ワールドビュッフェ」の出店状況は、出店1店舗、退店0店舗、純増1店舗の結果、総店舗数が15店舗となりました。厳選したお肉と店内手作りのデザートを中心に楽しむ焼肉オーダーバイキングの「プレミアムカルビ」の出店状況は、出店1店舗、退店0店舗、純増1店舗の結果、総店舗数が21店舗となりました。また、日常の食卓代行をコンセプトとして店内手作り・価格等にこだわった惣菜店の「馳走菜(ちそうな)」の出店状況は、出店3店舗、退店0店舗、純増3店舗の結果、総店舗数は117店舗となりました。

「神戸クック・ワールドビュッフェ」につきましては、メニューの改廃等によるお客様満足度の向上に努めたことに加え、外国人観光客の増加等の影響で、集客は新型コロナ拡大前に近い水準まで回復してきております。

「プレミアムカルビ」につきましては、メディアで紹介される機会も増加し、多くのお客様にご利用いただいております。

「馳走菜(ちそうな)」につきましては、お客様のニーズをとらえたメニュー構成や新メニューの投入で集客力を増しております。加えて、店舗数の増加もあって売上高を拡大しております。

この結果、外食・中食事業における当第1四半期連結累計期間の売上高は3,145百万円(同30.1%増)となりました。

③エコ再生エネルギー事業

当第1四半期連結累計期間におけるエコ再生エネルギー事業において、稼働中の発電所と発電量は、太陽光発電所が19カ所で約81.0MW、木質バイオマス発電所が1カ所で約6.2MWとなっており、いずれも順調に稼働しております。引き続き、再生可能エネルギーを活用し、環境に配慮した安全・安心なエネルギーを供給してまいります。

この結果、エコ再生エネルギー事業における当第1四半期連結累計期間の売上高は933百万円(同32.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産は203,479百万円となり、前連結会計年度末と比較し8,412百万円減少いたしました。主な要因は流動資産の減少7,962百万円等であります。流動資産の減少の主な要因は、現金及び預金の減少5,030百万円等であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は87,689百万円となり、前連結会計年度末と比較し9,749百万円減少いたしました。主な要因は、流動負債の減少9,950百万円等であります。

流動負債の減少の主な要因は、買掛金の減少5,118百万円及び未払法人税等の減少1,895百万円等であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は115,789百万円となり、前連結会計年度末と比較し1,337百万円増加いたしました。主な要因は利益剰余金の積み上げと配当金の支払による利益剰余金の増加664百万円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月15日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	92,590	87,559
売掛金	26,939	23,140
商品及び製品	16,645	17,070
仕掛品	378	387
原材料及び貯蔵品	1,801	1,941
その他	3,303	3,591
貸倒引当金	△17	△12
流動資産合計	141,641	133,679
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	16,186	16,424
機械装置及び運搬具(純額)	22,977	22,286
土地	19,897	19,917
その他(純額)	5,133	5,149
有形固定資産合計	64,195	63,777
無形固定資産	1,509	1,449
投資その他の資産	4,544	4,572
固定資産合計	70,249	69,799
資産合計	211,891	203,479
負債の部		
流動負債		
買掛金	32,231	27,112
短期借入金	1,317	1,005
未払法人税等	4,562	2,667
賞与引当金	473	259
その他	10,473	8,061
流動負債合計	49,057	39,106
固定負債		
長期借入金	37,000	36,846
退職給付に係る負債	688	706
預り保証金	7,589	7,647
資産除去債務	1,672	1,684
役員株式給付引当金	110	118
その他	1,320	1,579
固定負債合計	48,382	48,583
負債合計	97,439	87,689
純資産の部		
株主資本		
資本金	500	500
資本剰余金	12,137	12,411
利益剰余金	108,797	109,462
自己株式	△9,087	△9,065
株主資本合計	112,348	113,308
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27	67
為替換算調整勘定	△684	△516
その他の包括利益累計額合計	△657	△449
新株予約権	2,760	2,929
純資産合計	114,451	115,789
負債純資産合計	211,891	203,479

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年11月1日 至2023年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年11月1日 至2024年1月31日)
売上高	107,942	120,904
売上原価	96,681	106,673
売上総利益	11,261	14,231
販売費及び一般管理費	4,922	5,699
営業利益	6,338	8,531
営業外収益		
受取利息	88	37
受取配当金	0	0
受取賃貸料	12	78
補助金収入	23	22
その他	68	97
営業外収益合計	192	235
営業外費用		
支払利息	16	6
為替差損	787	13
賃貸収入原価	8	7
燃料販売原価	20	21
デリバティブ評価損	3,576	635
貸倒引当金繰入額	0	9
その他	2	8
営業外費用合計	4,412	703
経常利益	2,118	8,063
特別利益		
固定資産売却益	0	0
新株予約権戻入益	—	11
特別利益合計	0	12
特別損失		
固定資産除却損	1	8
特別損失合計	1	8
税金等調整前四半期純利益	2,117	8,066
法人税、住民税及び事業税	473	2,497
法人税等調整額	295	45
法人税等合計	768	2,542
四半期純利益	1,348	5,524
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,348	5,524

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年1月31日)
四半期純利益	1,348	5,524
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	63	40
為替換算調整勘定	△89	167
その他の包括利益合計	△26	207
四半期包括利益	1,322	5,732
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,322	5,732

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年11月1日至2023年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	業務 スーパー 事業	外食・中食 事業	エコ再生 エネルギー 事業	計				
収益認識の時期								
一時点で移転される財又は サービス	103,901	2,398	—	106,299	4	106,304	—	106,304
一定の期間にわたり移転 される財又はサービス	917	19	702	1,638	—	1,638	—	1,638
顧客との契約から生じる収益	104,818	2,417	702	107,938	4	107,942	—	107,942
売上高								
外部顧客への売上高	104,818	2,417	702	107,938	4	107,942	—	107,942
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,097	59	—	1,156	—	1,156	△1,156	—
計	105,915	2,477	702	109,095	4	109,099	△1,156	107,942
セグメント利益又は損失(△)	7,306	17	44	7,368	△21	7,347	△1,008	6,338

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、観光事業等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額は、セグメント間の内部取引消去であります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額△1,008百万円は各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2023年11月1日至2024年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	業務 スーパー 事業	外食・中食 事業	エコ再生 エネルギー 事業	計				
収益認識の時期								
一時点で移転される財又は サービス	115,795	3,118	—	118,913	8	118,922	—	118,922
一定の期間にわたり移転 される財又はサービス	1,022	27	933	1,982	—	1,982	—	1,982
顧客との契約から生じる収益	116,817	3,145	933	120,895	8	120,904	—	120,904
売上高								
外部顧客への売上高	116,817	3,145	933	120,895	8	120,904	—	120,904
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,458	120	—	1,579	—	1,579	△1,579	—
計	118,276	3,265	933	122,475	8	122,483	△1,579	120,904
セグメント利益又は損失(△)	9,432	198	75	9,706	△8	9,697	△1,166	8,531

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、観光事業等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額は、セグメント間の内部取引消去であります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額△1,166百万円は各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。